

かすが 議会だより



Contents

平成 29 年
9 月 定例会



- 2 9月定例会での議案審議
- 4 平成28年度一般会計決算認定
- 7 議決結果
- 10 13人の議員が一般質問
- 15 春日市議会「議会改革」
- 16 新企画 きかせて！あなたの未来

No. 189

【第60号議案】 保育所設置条例の一部改正

市立大和保育所を現行の公設民営から 公私連携保育法人による民設民営へ



昭和47年設置の大和保育所は老朽化が進んでおり、今後の保育需要の増大も踏まえ、現在よりも大きな施設に建て替え、利用定員を増やす必要がある。そこで、大和保育所の建て替えに向け、旧春日市立白水保育所と同様に公立保育所の位置付けを廃止し、公私連携型保育所とするもの。



大和保育所を視察する市民厚生委員会（9月11日）

問 市が公私連携保育法人に対しどのような協力をするのか。

答 用地は条例の規定に基づき、無償で貸与する。園舎は譲渡した方が市に有利だと判断している。

問 用地の無償貸与の期間を定めるのか。

答 児童福祉法その他関係法令には特に規定はないが、一般法として借地借家法の規定により、また、建物の耐用年数などを考慮し契約の中で30年と定める予定である。

公私連携型保育所

児童福祉法第56条の8第1項に規定する民設民営の保育所で、市は運営法人に土地や建物を時価より安い価格で譲渡または貸与をする一方で、法律に基づきその運営に関し関与ができる。また適切な運営を行っていると認めるときは法人の交代などなく、保育所の継続的安定的運営が可能となるほか、施設整備費などが国の助成の対象となる。

定例会での質疑のうち2～6ページで
主な議案についてご紹介します

査特別1件

インターネットで録画配信しています **春日市議会** 検索

問 ファーストブックやボランティアの育成は継続して実施するのか。

答 ファーストブックは必須型事業として実施。ボランティアとは十分に連携し、また事業者から、ボランティアの育成講座など新たな展開の実施の提案を受けている。

ファーストブック事業

4か月健診の際に赤ちゃんに絵本を贈る取り組み



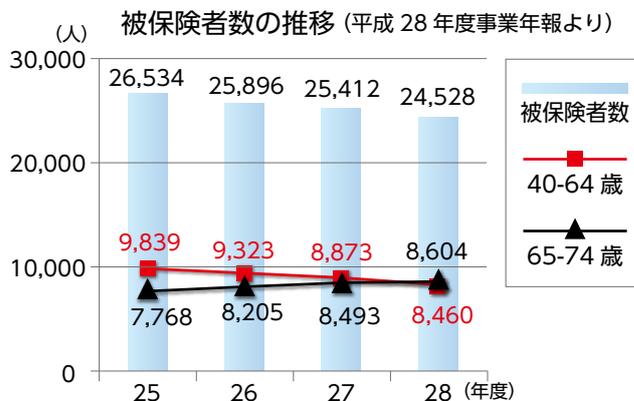
市民図書館児童コーナー

【第67号議案】

平成28年度 国民健康保険事業特別会計決算



・歳入総額 125億 6,823万円 ・歳出総額 119億 708万円



一般会計繰入金

法令で規定されている繰り入れと財源不足を補うための繰り入れ

問 一人当たりの医療費の傾向は。

答 被保険者数が減っているのですが、全体の費用額は減少しているが、一人当たりの費用額は入院で5%、通院で2.5%増加している。

問 ジェネリック医薬品の推進効果は。

答 ジェネリック医薬品への切り替えにより、1,880万円程度の効果があった。今後も継続して取り組みたい。

9月
定例会

議案審議

9月1日～9月25日 (25日間)

委員会付託議案：総務文教3件、市民厚生9件、地域建設7件、決算審

【第73号議案】 公の施設の指定管理者の指定

市民図書館の指定管理者が決定



- ・指定管理者 株式会社図書館流通センター(東京都文京区大塚)
- ・指定期間 4年間(平成30年度～平成33年度)

問 指定管理者の応募が1社で他社との相対評価ができなかったが、選考の過程に問題はないか。

答 競合を前提とした提案がなされたものと考えられる。公募条件にかなったもので問題はない。

問 現在図書館で勤務している職員は原則継続雇用なのか。

答 事業者から地元の方を優先して雇用したいとの意向は聞いている。可能な限り継続雇用できるよう改めて要望する。

こんなことに使われました

平成28年度一般会計決算認定

全議員による決算審査特別委員会が設置され、平成28年度一般会計の決算審査が行われた。委員会では平成27年度に実施した平成28年度当初予算審査での論議案件、新規事業や最終予算額50万円以上で執行率60%未満の事業についても説明を求め慎重に審査を行い、賛成多数で認定した。

↓【委員会での質疑は5ページ】



■ 一般会計決算状況は？

平成28年度一般会計

黒字

歳入総額 333億4,853万円 (前年度比約29億円減)
 歳出総額 315億3,411万円 (前年度比約37億円減)

翌年度に繰り越すべき財源 7億497万円
 実質収支額 11億945万円

■ 目的別歳出決算状況は？

区分	決算額	前年度伸率	市民一人当たり決算額
民生費	146億1,381万円	5.2%	12万9,581円
総務費	38億256万円	16.9%	3万3,718円
土木費	31億3,157万円	18.3%	2万7,768円
教育費	30億2,795万円	-63.8%	2万6,849円
公債費	26億2,361万円	-6.0%	2万3,264円
衛生費	25億6,525万円	-1.4%	2万2,746円
消防費	9億5,733万円	2.0%	8,489円
商工費	3億5,019万円	-11.5%	3,105円
議会費	2億6,956万円	-5.6%	2,390円
諸支出金	1億3,974万円	18835.6%	1,239円
労働費	3,083万円	3.3%	273円
農林水産業費	2,171万円	-2.2%	193円
一般会計合計	315億3,411万円	-10.5%	27万9,615円

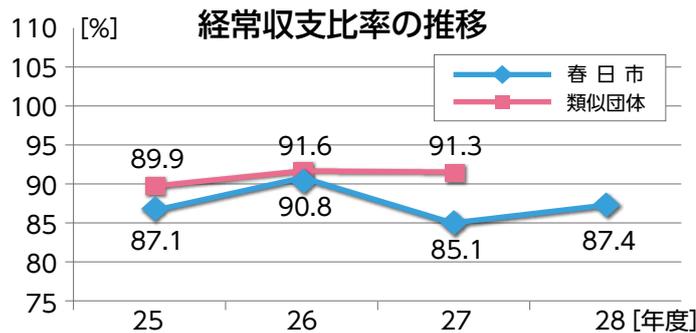
※平成29年3月末現在の人口112,777人で算出

■ 市民一人当たりの貯金と借金は？

貯金(基金) 残高 8万円
 総額 88億円
 (前年度比14億円増)

借金(市債) 残高 26万円
 総額 293億円
 (前年度比2.7億円減)

※平成29年3月末現在の人口112,777人で算出
 ※一般会計のみ



※類似団体とは人口と産業構造が類似した団体を差します。
 ※経常収支比率は、比率が低いほど財政運営に弾力性がある。

反対 吉居 恭子 議員

平成28年度歳入歳出決算では、実質収支10億3千万円の黒字であり、史上最高額である。決算時の約8億5千万円の不用額が年度中に整理され、有効に活用されていれば、市民生活の向上にさらに貢献したであろうと確信している。

賛成 竹下 尚志 議員

歳入は、ふるさと納税による寄附金の大幅な増収を実現しており、安定的な行政運営を行うことに寄与している。また、歳出は、高齢化や公共施設の老朽化・長寿化などそれぞれの課題の対応のための的確な予算配分と適正な予算執行が行われている。

採決にあたっての
 討論

決算審査特別委員会での



11億円の黒字決算。 その要因は？

問 実質収支額が平成27年度約10億円だったものが、平成28年度は約11億円に増加しているが、この額についてどのように考えているか。

答 一般的には実質収支比率は3%から5%が適正と言われているが、平成28年度は5.8%であり、若干多いと認識している。実質収支額の主なものは、年度を通して不足させることのできない扶助費の確保などにより生じた執行残であるため、決算見込みの精度を上げ、不用額については適宜補正を行い、市民サービスに生かせるように対応していきたい。

市税の徴収は？

問 市税などの収納率や不納欠損の状況は前年度より向上しているが、その要因は何か。

答 収納率の向上は、職員の徴収努力やコンビニ収納の導入による納税環境の整備に起因している。また、不納欠損については、財産調査を行い、資力の把握を徹底した上で滞納整理を行っている。

不納欠損

滞納分の徴収金が徴収できなくなったとして、その調定の金額を消滅させること。地方税法などで不納欠損の条件が定められている。

コミュニティ・スクールの成果は？

問 コミュニティ・スクール事業における学校支援地域本部導入事業に関し、地域・学校の負担が軽減されたと判断した根拠は何か。

答 学校と地域のつなぎ役である地域コーディネーターの配置により、地域と学校の連絡調整が容易になった。学校の負担が軽減されたなどのアンケート結果が出ている。

委員会でのまとめ

春日市の財政運営は健全？

歳入において、市税は前年度と比べて約2.4%の増収となったが、地方交付税や地方消費税交付金などが減収となり、全体としては減額となった。歳出においては、代表的な社会保障関係経費である扶助費が前年度から約4.8%の伸びとなり4年連続で増額となったが、全体では減額となった。

財政健全化法に基づく四つの健全化判断比率では次の通りとなった。

- ①実質赤字比率：赤字がない
- ②連結実質赤字比率：赤字がない
- ③実質公債費比率：1.9%（前年度に比べ0.7ポイント改善した）
- ④将来負担比率：将来負担額がそれに充当できる財源を下回っている

しかし今後、地方交付税は国の政策経費の中で社会保障費に次ぐ規模を占めていることから、この先、地方財政にも歳出抑制の圧力が高まってくるのは必至の情勢である。生産人口の減少による市税などの減や公共施設の老朽化対策などの課題にも対応しながら、今後も限られた予算の適正な執行に努めることが求められる。

これらのことから、本市の財政運営は健全であると判断する。



決算審査特別委員会の様子

【第72号議案】 公の施設の指定管理者の指定

ふれあい文化センターの指定管理者が決定

賛成多数
可決

- ・指定管理者 トールツリーグループ
代表企業 株式会社ケイミックスパブリックビジネス
(東京都港区虎ノ門)
- ・指定期間 4年間(平成30年度～平成33年度)

問 直営から指定管理者への移行期間中に、利用する市民に不便をかけることはないか。

答 協定書締結後、速やかに引き継ぎのための仮設の事務所を設置し、3月までに引き継ぎを完了させる。市民に不便をかけることはない。

問 市民からクレームや要望があった際の対応は。

答 市と指定管理者の双方で月例の会議を持ち、対応可能なものについては、速やかに対応していただくよう考えている。



昨年度の文化祭の様子

問 例年文化祭はふれあい文化センターで行っているが、バザーなどの会場使用に制約はないか。

答 文化祭については市が直営で行う形で調整しているため、来年度以降も同じように支障なく実施できるものと考えている。

【第55号議案、第56号議案】

人権擁護委員の候補者を推薦

全員賛成
同意

人権擁護委員

いのうえ まさひろ なかはら ちがこ
井上 政博氏 中原 千賀子氏

人権擁護委員

人権擁護委員法に基づき、人権相談を受けたり、人権の考えを広める民間ボランティア。現在、約14,000人が法務大臣から委嘱され、全国の市町村に配置され、積極的な人権擁護活動を行う。本市では、現在9人の人権擁護委員が活動を行っている。

【第2号意見書案】

道路整備の予算確保に関する意見書を提出

全員賛成
可決

現在道路事業においては、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定により交付金事業の補助率などがかさ上げされているが、このかさ上げ規定が平成29年度までの時限措置となっていることから、道路整備に必要な予算の確保に関し要望するため、国に対し意見書を提出した。

[意見書の要旨]

地方が必要とする道路整備予算を安定的に確保すること。道路財特法による補助率などのかさ上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続すること。

提出先:内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣

9月定例会 議案の議決結果

■ 全員賛成で議決した議案

人事案件

- 人権擁護委員の候補者の推薦(2件)
⇒P6参照 [同 意]

条例の改正

- 昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例 [原案可決]
- 下水道事業の設置等に関する条例 [原案可決]
- 都市緑地保全基金条例 [原案可決]
- 保育所設置条例 ⇒P2参照 [原案可決]

平成29年度 補正予算

- 一般会計(第3号) ⇒P8参照 [原案可決]
- 国民健康保険事業特別会計(第1号) [原案可決]
- 後期高齢者医療事業特別会計(第1号) [原案可決]
- 介護保険事業特別会計(第2号) [原案可決]
- 下水道事業会計(第1号) [原案可決]

平成28年度 決算認定

- 国民健康保険事業特別会計
⇒P3参照 [認 定]
- 後期高齢者医療事業特別会計 [認 定]
- 介護保険事業特別会計 ⇒P9参照 [認 定]
- 下水道事業会計 [認 定]

その他の案件

- 地区公民館等の指定管理者の指定
⇒P9参照 [原案可決]
- 自動車駐車場の指定管理者の指定
⇒P9参照 [原案可決]

議員提出議案

- 決算審査特別委員会の設置 [原案可決]

意見書

- 道路整備に必要な予算確保に関する意見書
⇒P6参照 [原案可決]

報告事項

- 平成28年度健全化判断比率 [受 理]
- 平成28年度資金不足比率 [受 理]

陳情

- 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情
[市民厚生委員会に送付、意見書送付は見送り]

■ 賛否が分かれた議案

議案番号	議案名	議決結果	賛成	反対	公明党		みらい春日		創政会		春風会		翔譽会		会派大樹		春陽会		会派に所属しない議員		
					野口	前田	岩切	高橋	西川	武末	與國	竹下	米丸	川崎	白水	松尾	中原	北田	近藤	白水	岩淵
決算認定	平成28年度一般会計歳入歳出決算認定 ⇒P4参照	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
その他	ふれあい文化センター(文化施設)の指定管理者の指定 ⇒P6参照	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	ふれあい文化センター(市民図書館)の指定管理者の指定 ⇒P3参照	原案可決	17	2	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※金堂清之議員(翔譽会)は議長職のため、表決権はありません。

※○は会派代表者 (○賛成 ●反対)

※賛成・反対討論を行った議員は網掛け■しています。

総務文教委員会

【第61号議案】一般会計補正予算(第3号)

- ・補正額 9億6,594万円
- ・歳入歳出総額 328億1,164万円

公共施設長寿命化計画・再配置計画策定に1,877万円

施設の適正配置と効率化とは

問 施設の複合化など既成概念を外して検討していく必要があるのではないかと。

答 今後、年齢構成が変わってくるため複合化などあらゆる手法を検討しながら計画を策定していきたい。

高齢者運転免許証自主返納支援事業に81件41万円を追加

継続の方向性

問 来年度も福岡県からの補助が無い場合でも事業を継続していくのか。

答 基本的に補助制度は平成28年度から3か年の時限付きの制度であるが、補助の有無にかかわらず実施していきたい。



道路ストック長寿命化補修事業費 3,558万円減額

国の交付金が減額

問 交付金減額による道路への補修計画への影響は。

答 今回の減額は全国的なものである。道路ストック調査では今回早急に補修する箇所は無かったため、道路照明灯の補修とゾーン30の設置を優先している。

保育所等整備事業費補助金として私立保育園に675万円

防犯対策として

問 防犯カメラと非常通報装置の設置については、春日市内のすべての保育所で対策が取られているのか。

答 今回、設置要望の照会を行ったのは、国の交付金の対象となる私立の保育所だけである。公立については当初予算などで検討したい。

史跡等総合活用事業費 県補助金として歳入30万円増額

水城跡の樹木の整備は

問 大雨などで懸念があるため定期的に樹木の整備はできないか。

答 平成27年度に水城跡の保存管理計画を策定したことで国・県から樹木整備の許可が出た。今年度も近隣住民の住環境への影響を考慮しながら整備に取り組んでいく。

地域建設委員会

【第71号議案】 公の施設の指定管理者の指定

地区公民館の 指定管理者を指定

- ・指定管理者 市内全35自治会
- ・指定期間 10年間(平成30年度～平成39年度)

全35自治会が継続

問 地区公民館などの指定期間が今回5年から10年になった根拠は何か。

答 指定管理者として自治会以外を想定していないこと、過去の運営実績を踏まえて、条例の定める最長の期間の10年とした。

【第74号議案】 公の施設の指定管理者の指定

JR春日駅前駐車場の 指定管理者を指定

- ・指定管理者 タイムズ24株式会社
- ・指定期間 5年間(平成30年度～平成34年度)

市役所市民駐車場と同業者に決定

問 選考基準の考え方は。

答 市民サービスの維持、向上、還元および市の収益に配点を重くした。

問 指定管理と直営との経費の差額はいくらになるのか。

答 現在、管理に要する金額は年間約150万円。指定管理によりこの経費が不用となり、加えて今後133万円が収益となる見込みであり、年間約280万円が差額である。

問 敷地内の事故の責任者は指定管理者になるのか。

答 基本的には指定管理者の責任となる。ただし自然災害などでの破損事故の場合は市と業者の協議にて決定する。

市民厚生委員会

【第69号議案】

平成28年度介護保険事業 特別会計決算

- ・歳入決算額 62億 77万円
- ・歳出決算額 60億7,697万円
- ・実質収支額 1億2,341万円

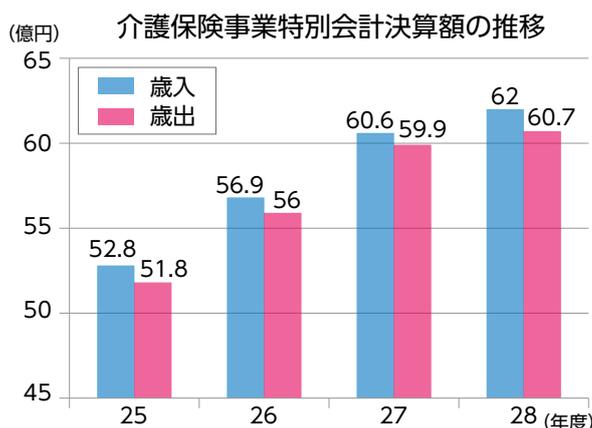
歳入歳出いずれも前年度約1億円増

問 介護給付費準備基金残高が約3億2千万円となっている背景は。

答 28年度は想定より高齢者数が伸び、徴収率も事業計画の見込みより高かったため介護保険料収入が多くなったこと、介護給付費が事業計画の見込みより伸びていないため歳出が減ったこと、また要支援者の比率が大きくなり給付費の伸びが落ち着いていることなどが影響している。

問 定期巡回随時対応型訪問介護・看護サービスの利用状況の見解は。またサービスの周知は。

答 地域包括ケアシステムの核となるサービスと認識しており、その定着を図りたいが、スタッフの確保が難しいとの報告を受けている、事業所に近い範囲内でのサービスとなっている現状から、第7期計画でさらなる整備が必要かを検討している。周知と体制整備の両面で取り組んでいきたい。



9月定例会一般質問

13人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

各議員が決める

質問内容は、議案とは関係なく議員個人が決めます。市政全般について市長の見解を求め、市政に対する提言を行います。

質問は受付順

一般質問を行う場合は、質問内容を記した一般質問通告書を議長に提出します。この受付番号が発言順となります。

回数制と時間制

回数制は3回まで質問できません。時間制は質問の制限時間が40分以内です。時間制の再質問以降は一問一答方式で行います。

質問項目一覧

松尾徳晴 議員

- 国民健康保険事業について
- 悪質業者の詐欺などから市民を守る施策について

米丸貴浩 議員

- 第10次春日市交通安全計画について

前田俊雄 議員

- 「総合的な放課後対策」について

岩淵 穰 議員

- 学習指導要領の改訂に向けた教育委員会の対応方針を問う

近藤幸恵 議員

- 自治会との協働と施設整備について
- 武力攻撃事態に対する危機管理について

中原智昭 議員

- 都市計画道路(1級1号路線)光町大土居線の光町交差点西側の多発する自転車と児童の事故防止と今後の対策について

吉居恭子 議員

- 国民健康保険の財政運営責任の都道府県化による影響と、市民の健康を守るための今後の対策について

内野明浩 議員

- 学校現場における教員の働き方改革について
- 公共施設における設備安全点検について

高橋裕子 議員

- 市民の利便性向上と行政事務の効率化について
- 下水道事業について

西川文代 議員

- 指定管理者制度導入について

野口明美 議員

- 障がい者差別解消法への対応について

岩切幹嘉 議員

- 学校における熱中症対策の取り組みについて

川崎英彦 議員

- 受動喫煙防止の取り組みについて

※全文は市議会ウェブサイトの会議録検索システムで閲覧できます。

※原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

※各議員の名前の横にあるQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると一般質問の録画映像が見られます。

どうなる 国民健康保険



まつ お とくはる
松尾 徳晴 議員



問 国民健康保険は来年4月から財政運営の責任主体を市町村から都道府県に移す大改革を行う。それにより本市及び市民にどのような影響があるのか。また、保険料が上昇するのではないかと気になる。

答 被保険者に身近な各種届け出の受け付けや保険証発行などの資格管理、賦課徴収、高額療養費などの給付決定や支払い事務は引き続き市が行う。11月頃県が提示予定の国保事業費納付金や標準保険料率などを待っている状況。



改定された春日市 交通安全計画の考えは



よねまる たかひろ
米丸 貴浩 議員



問 今計画において「人優先の安全・安心な歩行者空間の整備」が初めて明文化された。通過交通の抑制・排除などの面的かつ総合的な交通事故対策の推進には、ハンプや狭さくなどの設置は大変重要であると考えが見解は。

答 ハンプなどは有効な手法であり、国基準での設置では騒音や振動の発生を抑制できるが、速度30キロ以下や住民の同意の課題もある。イメージハンプなどのカラー化による安全確保と同時にハード的手法も併せて研究したい。



通勤時間帯の生活道路

春日市独自の「総合的な 放課後対策」を



まえだ としお
前田 俊雄 議員



問 本市教育振興基本計画において、「総合的な放課後対策」が掲げられている。進めるに当たっては、放課後児童クラブ事業およびアンビシャス広場事業のそれぞれの関係者の思い、考え方を大事にして、過度に負担にならないよう、慎重に取り組んでいただきたい。

答 両事業の関係者の過度の負担にならないような部分をしっかり踏まえて、関係所管で慎重に協議を行いながら、よりよい方向性を導きだしていきたい。



谷っ子アンビシャス広場

改訂学習指導要領への 対応方針について



いわぶち ゆたか
岩渕 稜 議員



問 改訂学習指導要領の総則に、帰国子女や外国人児童など日本語の習得に困難のある児童・生徒に対する日本語指導についての記述がある。本市における対象児童・生徒の実態及び支援、対応はどのようになっているのか。

答 平成29年5月時点で小中学校合わせて16名が在籍しており、前年度より5名増加している。言語、文化、宗教などさまざまな背景を持つ一人一人の状況を確認しながら、保護者との連携の下、総合的な支援に努めている。



自治会悲願の公民館へのエレベーター設置は



こんどう さちえ
近藤 幸恵 議員



問

行政と対等なパートナーである自治会が住民の共助をさらに深め広げるため、公民館にエレベーターの設置を長年哀願しているが、いまだ設置されていない。課題は財政と確認している。28年度決算では市民に返すべき剰余金が1億5,424万円となった。自治会の悲願をかなえるべきと考える。

答

市長として設置を否定するものではない。市民および職員の声にしっかりと耳を傾け、慎重に優先順位を付け地域の課題解決に努める。



光町西側交差点の通学路事故防止対策を



なかほら ともあき
中原 智昭 議員



問

県道31号線光町交差点を西側に上った東小学校入口交差点では、小学生児童を巻き込む自転車事故が多発している。子どもたちの命を守るため、早急に事故防止の対策を望む。

答

該当交差点での事故発生の原因は、自転車運転者の交通違反と考え、秋の交通安全県民運動の期間に警察官の立哨を要請し、指導をお願いする。何よりも子どもたちの命を最優先にしていこう、悪質な自転車運転者の走行違反を抑止するような施策を考えていく。



光町西側交差点の様子

国保財政の県単位化による影響とその対策は



よしい きょうこ
吉居 恭子 議員



問

国保は皆保険を支える大事な社会保障である。県単位化でさらに国保税が上がるなどの影響はないか。低所得者への国保税軽減措置や窓口負担の減免の現状、子どもの均等割額の免除の考えは。

答

事務手続きなどは変わらない。国保税については県から数字を待っている状況。各種軽減措置や窓口負担の減免制度はあるが、子どもという理由で一律に均等割額を免除することは考えていない。



学校現場の働き方改革について



うちの あきひろ
内野 明浩 議員



問

教職員の働き方改革について、本市ではどのような施策を行っているかを問う。

答

本市独自の取り組みとして、サポートティーチャーによる特別支援の子ども指導、外国語活動指導員、ALTの配置、6年生30人以下学級の編制、不登校専任教員の設置。事務負担軽減として学校事務の共同実施、給食費納付推進員の配置などの取り組みは、児童生徒へのきめ細やかな教育活動の推進、教職員の負担感の軽減にもつながっている。



コンビニ交付サービス 導入の考えは



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員



問 マイナンバーカードで住民票や戸籍証明書などが取れるコンビニ交付サービスは、コンビニ業者へ支払う手数料が引き下げられ、導入に係るコスト、運用に係るコストも以前より緩和されている。市民の利便性向上のためにコンビニ交付サービスの導入を求めたい。

答 住民の利便性向上に寄与すると考えるが、今後も国の動向に加えマイナンバーカードの普及状況および費用対効果を見極め、近隣団体の状況も注視しながら引き続き検討を進める。



コンビニなどで証明書を取得する様子

指定管理者制度 導入について



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問 本市の公の施設に対し、市民サービス向上に資する指定管理者制度を導入するためには、市職員が指定管理者制度についてのノウハウを知り、民間事業者との対応に熟達していく必要があると考えるが見解は。

答 指定管理者制度を導入した施設について、指定管理者を市と市民が求める方向に適切に導く必要があり、円滑に運用するためのノウハウの蓄積に努め、指定管理者への対応、募集・選定に反映している。



市民図書館

市庁舎玄関の バリアフリー化の考えは



のぐち あけみ
野口 明美 議員



問 車いす利用者の安全な移動また視覚障がい者およびベビーカーの誘導などに加え、本年8月末で市の高齢化率が20.59%になったことを併せ持って考えると、この場所のバリアフリー化は避けて通れない課題と思うがいかがか。

答 正面玄関のスロープは開庁当初から議会棟側に設置済みだが、庁舎は開庁から25年が経過し、老朽化などの対策が必要となっていることから、その他市の施設を含めた改修計画の中で、見直しを行う必要があると考えている。



学校における熱中症対策を 進めていくべき



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員



問 学校現場において熱中症の発生件数は、気温、湿度、輻射熱を取り入れた指標となるWBGT測定器の活用は。予防対策として非常に効果的な冷水機の設置の取り組みについては。

答 発生件数は小学校34人、中学校61人の計95人である。WBGT測定器は現在3校で活用しており、今後は部活動での活用も含め検討していく。冷水機の設置については、貴重な提案と受け止め、衛生面など総合的に調査研究に努めていきたい。



議会閉会中の活動



議員と語ろう議会報告会

- ・11月 8日(水)19時
会場 白水小学校 レインボーホール(多目的ホール)
- ・11月10日(金)19時
会場 ふれあい文化センター 大会議室(旧館2階)

閉会中の委員会(今後の予定)

- ・11月20日 市民厚生委員会
- ・11月22日 地域建設委員会
- ・11月22日 総務文教委員会
- ・11月24日 議会運営委員会

委員会の議題を市議会ウェブサイトですらに事前に知らせします。

他議会とも意見交換

議会改革や議会広報について、他議会からの視察を受け入れ、本市議会の状況を報告するとともに意見交換を行いました。

- ・10月 3日 愛知県春日井市議会
- ・10月 6日 広島県廿日市市議会

始めました



春日市議会の情報をフェイスブックページでお届けしています。ぜひフォローしてください。

たばこの煙のこと、考えてみませんか



かわさき ひでひこ
川崎 英彦 議員



問 たばこの煙は、流産や早産、低出生体重児の出産、乳幼児突然死症候群などの危険が高まり、防止のための有害物質99%以上がカットされる喫煙ブースの設置が望まれている。受動喫煙状態と受動喫煙防止対策の考え方は。

答 喫煙所から漏れる煙は好ましい状態ではない。また、受動喫煙対策は市民の健康づくりのための重要な課題であり、本年度の第2期いきいき春日21健康づくり支援計画の中間見直しの中に項目を設け、防止対策を行っていく。



市議会の評価

議会運営委員会

市議会では、春日市議会基本条例に基づき、定例会ごとに議案の審査結果、採決の結果、一般質問の実施状況などについて、議会活動の評価を行います。

今議会では、市長提案の人事案件2件、条例案件4件、予算案件5件、決算案件5件、その他の案件4件および意見書1件、陳情1件を慎重に審査しました。

1 議案の審査結果

平成28年度一般会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会で主要な施策の成果などをもとに多方面から慎重に審査・議論されたことが委員長報告からうかがえた。

2 採決の結果

一般会計歳入歳出決算認定においては、賛成・反対の立場で活発な討論が交わされ、意思を明確にした採決となった。

3 一般質問の実施状況

- ①質問通告者が13人で、17項目の幅広い政策、施策について執行部と活発な議論が交わされた。
- ②一方、要望を述べる場面が多く見受けられたが、一般質問の趣旨を踏まえて行うことが大切である。

4 その他

- ①質問者の発言に対し動議が出され、その取り扱いについて、全員協議会での協議中、特段の説明がないままであったが、視聴者に分かるように協議内容や開始予定時間などをテロップで流すなどの対策が必要である。
- ②議会基本条例の見直しを行っていることは議会環境の変化に対応したもので、議会の最高規範としてより望ましいものに改定したいものである。

※議会傍聴者は、一般質問、最終本会議の3日間で延べ24人でした。詳細は市議会ウェブサイトに掲載していますのでご覧ください。

春日市議会 「議会改革」vol.1

議員の意識改革が焦点！

春日市議会では議会基本条例を制定して8年が経過し、議会運営委員会で先進地視察（関連記事P15下段）などを行い、条例改正に向けて議論を始めています。

9月20日「議会基本条例の要点」をテーマに、講師に西日本新聞編集局報道センター次長まえだ たかお前田隆夫氏をお招きし、議員研修会を開催しました。市民が成果を実感できる議会改革にできるかが求められていると感じました。

【研修会の要点】

- 「機関」としての議会と市民の対話が重要
- 議会広報の充実 [傍聴のしやすさ・会議の見える化]
- 議会広聴の充実 [議会報告会・政策形成に市民参加]
- 議会活動の検証 [議会の評価の在り方]

議会基本条例

議会の在り方などを規定する議会の最高規範にあたるもの



今後の主な検討項目

ただいま議論中!

- 市議会の評価について
- 広報・広聴機能の充実について
- 議会の災害対応について
- 議会基本条例の見直し規定について

議会運営委員会視察報告

視察者

北田委員長 白水勝己副委員長 與國委員 野口委員
中原委員 西川委員 白水和博委員 金堂議長 竹下副議長

視察日

平成29年7月19日～21日

長野県松本市

議会基本条例施策推進組織の取り組みについて

議会への市民参加と開かれた議会の実現のために、市民から議会に対して意見や提言をいただく場として「市議会ステップアップ市民会議」を設置している。また基本条例に規定する各種取り組みを推進する組織を設置し、市民の代表機関としての役割を果たしている。

福島県会津若松市

継続的な議会改革の推進体制について

継続的な議会改革の推進として正副議長選挙の際の所信表明会の実施、議会制度検討委員会には公募による2名の市民参加などが行われていた。また団体や地区別意見交換会を行い、市民の意見を反映させるための政策討論会を行うなど政策形成サイクルができていた。

埼玉県所沢市

議会基本条例の改定について

平成21年3月に基本条例制定後、4回の改正が行われ、大学教授の専門的知見の活用がなされていた。また活発な政策討論会の開催やワールドカフェ形式の議員との意見交換会も行われていた。先進地の取り組みを勘案し、基本条例の改正に取り組んでいく。



埼玉県所沢市

まかせて! あなたの未来 vol.1



春日リトルラガーズクラブ
キャプテン (春日西中学校 2年生) **みのだ こうせい**
蓼田 倅生さん

どんな活動をしていますか?

毎週土曜日の午後1時から5時と日曜日祝日の午前9時から12時に、県営春日公園こども広場などで練習しています。

部員は3歳から中学生まで約170人です。小学生のヒーローズカップ全国大会に3年連続出場しています!

将来の夢は?

ボールを持った人が主役になれるラグビーをずっと続けていきたいです。そして将来はOBとしてチームで教えたいです。

春日市のここが好き!

何でも揃っていて、お店が豊富なところです。

春日市のここに期待しています

練習場所のこども広場が土で怪我が多くなるので人工芝にしてほしいです。交流があるニュージランドのマッシュクラブのような、町全体でラグビーを応援する「ラグビータウン」になってほしい。

春日リトルラガーズクラブホームページ
<http://klrc1980.com/>

会期日程 平成29年12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
					本会議 (議案説明)	
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 議会運営委	常任委員会 (審査)	常任委員会 (審査) 議会報委	常任委員会 (審査)	
10	11	12	13	14	15	16
		本会議 (一般質問)		常任委員会 (採決)	議会運営委 常任委員会 議会報委	
17	18	19	20	21	22	23
	本会議 (採決)					

※日程は都合により変更になることがあります。

議会を傍聴しませんか

市議会の定例会や委員会では、市民の皆さんのこれからの生活に直接関わる大切な議案などについて議員が質疑を行い、慎重に審議、決定しています。傍聴をご希望の方は、市役所1階議会事務局までお越しください。

次号190号
平成30年2月15日発行
12月28日
メ切

あなたの写真が
表紙に!

議会だよりの表紙に市民の皆さんが撮影した写真を募集しています。ご応募お待ちしております。

(今回は春日リトルラガーズクラブの皆さんの写真です。)



編集後記

表紙を飾ってもらった「春日リトルラガーズクラブ」。技術の向上だけにとどまらず、ラグビーを通じて世界で活躍する人材を育成する! が基本理念。現在本市は、市民に広く夢と希望を与え、スポーツボランティアの育成を目的に、ラグビーワールドカップ2019日本大会の公認チームキャンプ地に応募しています。世界最高峰で活躍する選手のパフォーマンスを目の前で見て、感じ、世界に羽ばたく多くの人材が育ってくれるためにも、誘致決定を切に願っています。(かずひろ)

議会報編集特別委員会

委員長:高橋裕子 / 副委員長:白水和博
委員:川崎英彦 / 委員:岩淵 穣